

出資法人等経営評価書(企業会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	株式会社 茨城県中央食肉公社		代表者	角田 芳夫	
所在地	東茨城郡茨城町下土師1975		所管部(局)課	農林水産部 畜産課	
ホームページURL			E-mailアドレス	kakouka@abox23.so-net.ne.jp	
資本金(基本財産)	1,900,550千円		設立年月日	昭和 54年 2月 7日	
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額	出資率
	1	茨城県		538,320千円	28.3%
	2	農畜産業振興事業団		340,000千円	17.9%
	3	全国農業協同組合連合会		282,680千円	14.9%
	4	茨城県北鹿行食肉協同組合		170,170千円	9.0%
	5	茨城県信用農業協同組合連合会		56,720千円	3.0%
	その他	82 団体		512,660千円	27.0%
設立目的	県北鹿行地域における老朽化した7つの食肉処理施設の再編と、食肉流通の合理化及び食肉取引の近代化を図り、もって畜産振興に寄与することを目的に設立された。				
事業内容	1. 肉畜(豚、牛等)のと畜解体 2. 食肉市場の開設及び卸売業務 3. 食肉及び副産物等の処理加工販売・冷蔵保管				

[組織]

7月1日現在の人数		斜字は、県関係者で内数(OBを含む)					
役員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤取締役	2	2	3	1	1	1
	非常勤取締役	17	17	16	3	3	3
	常勤監査役	1	1	1	1	1	1
	非常勤監査役	2	2	2			
	計	22	22	22	5	5	5
職員	管理職	20	19	18			
	一般職	52	53	54			
	臨時職員	8	7	11			
	嘱託職員	14	14	12			
	計	94	93	95			
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
	10	16	32	14	72	42歳 7月	17年 3月

[収支等の状況]

単位:千円

区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の状況	売上高	2,713,113	2,930,042	3,140,989	3,460,228	4,073,791
	営業外収益	36,006	45,632	39,548	50,477	51,626
	収益合計	2,749,119	2,975,674	3,180,537	3,510,705	4,125,417
	営業費用	2,708,243	2,930,841	3,149,576	3,476,453	4,093,030
	営業外費用	6,359	6,086	5,936	11,506	7,238
	費用合計	2,714,602	2,936,927	3,155,512	3,487,959	4,100,268
	うち管理費	191,927	196,066	191,437	206,214	212,309
	うち人件費	470,462	478,557	502,416	511,331	575,997
	経常損益	34,517	38,747	25,025	22,746	25,149
	特別利益	433	133,583	60,436	172,362	998
	特別損失	640	132,752	60,372	173,119	
	税引前当期損益	34,310	39,578	25,089	21,989	26,147
	法人税,住民税,事業税	28,786	12,839	13,670	12,225	15,885
	当期損益	5,524	26,739	11,419	9,764	10,262
	前期繰越損益	1,061,767	1,056,243	1,029,504	1,018,085	1,008,321
当期末処分利益・未処理損失	1,056,243	1,029,504	1,018,085	1,008,321	998,059	
利益処分額・損失処理額						
次期繰越損益	1,056,243	1,029,504	1,018,085	1,008,321	998,059	
財産の状況	資産	2,131,579	2,398,614	2,262,833	2,539,259	2,316,241
	流動資産	1,190,912	1,369,701	1,207,809	1,386,241	1,195,986
	固定資産	940,667	1,028,913	1,055,024	1,153,018	1,120,255
	繰延資産					
	負債	1,287,273	1,527,569	1,380,369	1,647,030	1,413,750
	流動負債	991,790	1,233,571	1,072,228	1,316,870	1,030,073
	うち短期借入金	829,568	809,568	809,568	809,568	809,568
固定負債	295,483	293,998	308,141	330,160	383,677	
うち長期借入金						
資本	844,306	871,045	882,464	892,229	902,491	
財的関与状況	補助金				21,333	
	委託金					
	貸付金	620,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	計	620,000	600,000	600,000	621,333	600,000
	財政的援助の割合(%)			19	18	15
損失補償・債務保証						

[評価指標]

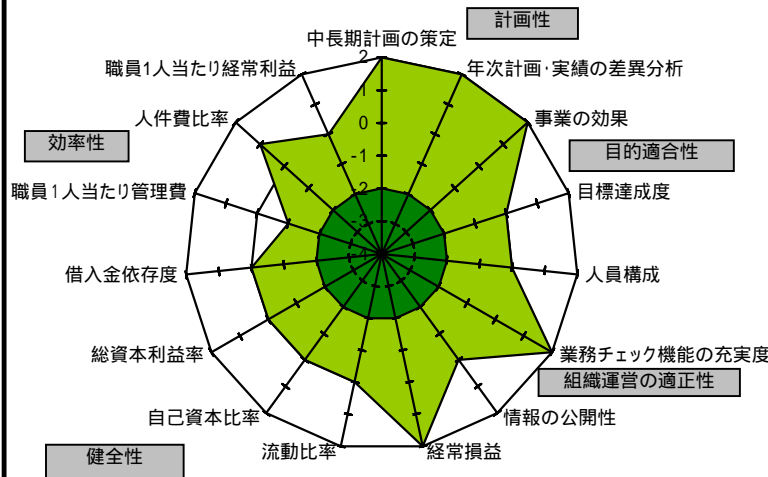
株式会社 茨城県中央食肉公社				12年度	13年度	14年度	評点	
計画性	1	経営基本方針の策定		経営基本方針の策定・見直し				2
	2	中長期経営計画の策定		(経営改善計画:平成15~19年度)				2
	3	年次事業計画の策定		具体的な目標設定				2
	4	年次計画・実績の差異分析		計画未達成の原因分析及対策				2
目的適合性	1	事業の意義		事業の必要性の検証				1
	2	事業の効果		(評価の指標:)				2
	3	顧客満足度の把握		(調査方法:)				2
		目標達成度	%	実績値 ÷ 目標値 × 100	97	96	108	0
組織正営の	1	人員構成		役員・職員の構成,年代構成の適正化				0
	2	職員の動機付け体制		組織の各職員の目標・成果に対する評価				2
	3	業務チェック機能の充実度		業務遂行における組織のチェック機能				2
	4	情報の公開性		事業活動内容・財務の公開状況				0
健全性		経常損益	千円		25,026	22,746	25,149	2
	2	当期損益	千円		11,419	9,764	10,262	2
		流動比率	%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100	113	105	116	0
		自己資本比率	%	自己資本 ÷ 総資本 × 100	39	35	39	0
	5	総資本利益率	%	経常利益 ÷ 総資本 × 100	1	1	1	0
	6	売上高粗利益率	%	売上粗利益 ÷ 売上高 × 100	6	6	5	-1
		借入金依存度	%	借入金 ÷ 総資本 × 100	36	32	35	0
		借入金返済能力	年	借入金残高 ÷ (当期利益 + 償却費 + 引当金・積立金)	4	3	4	1
	9	補助金収入依存度(公益法人のみ)	%	補助金収入 ÷ 収入合計 × 100				
	10	受託事業の再委託度	%	受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100				
		土地の含み損益						2
	12	資金の運用						2
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円	管理費 ÷ 職員数	1,081	1,057	1,144	-1
	2	人件費比率	%	人件費 ÷ 売上高 × 100	16	14	14	1
	3	職員1人当たり売上高	千円	売上高 ÷ 職員数	34,141	37,206	43,338	2
	4	職員1人当たり経常利益	千円	経常利益 ÷ 職員数	260	244	267	0
	5	役員人件費比率	%	役員人件費 ÷ 人件費 × 100	2	2	2	0
	6	(施設管理運営型)施設等利用率	%	施設等利用延人数 ÷ 施設等延定員数 × 100				
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人	施設等利用延人数 ÷ 職員数				
	7 2	(建設製造販売型)職員1人当たり建設・製造・販売実績	件	建設・製造・販売実績 ÷ 職員数				
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件	役務提供実績 ÷ 職員数				
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件	貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等		(使用料の減免額: 千円)				2	
9	管理費削減工夫度		削減目標の設定及び成果				2	

評点集計

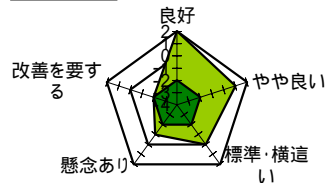
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	5	10	50.0%
組織運営の適正性	4	4	8	50.0%
健全性	10	12	36	33.3%
効率性	7	8	24	33.3%
合計	29	37	86	43.0%

警戒指標

経営評価レーダーチャート



凡例



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
第3次経営改善5ヶ年計画を基本に、年次計画を作成し、毎月行っている経営会議において、部門ごとに進捗状況をチェックし改善策を講じ、累積欠損金の縮小に努める。	食肉流通の合理化及び食肉取引の近代化に寄与するという設立目的に沿った事業は展開しているが、さらに取扱い頭数の確保に努める。	ここ数年新規採用を控えたことにより、職員の年齢構成がアンバランスになっているため少数精鋭主義を保ちながらも、定期的な職員採用をしていきたい。また、情報の公開性においては、県を通じた情報公開に積極的に取り組んでいきたい。	僅かではあるが、当期利益を計上し、累積欠損金は縮小しているが、頭数の確保、低コスト化を推進し、自己資本比率を高めていきたい。	職員1人当たりの売上高に比べ、経常利益が低く、利益率の低い体質になっている。取引内容の改善を図り、利益率の向上に努力していきたい。
今後の事業の方向	肉畜の生産環境も厳しいものが予想されますが、平成15年2月に策定しました第3次経営改善5ヶ年計画に基づき、と畜・市場・部分肉の各部門の一体的な運営を推進し、品質衛生管理の徹底に努め、収益性の向上を図り、生産者・消費者から魅力ある食肉市場として信頼されるよう、役職員一体となり運営にあたる。			

記載者職氏名 取締役副社長 穠山隆貞

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

[所管課意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成15年3月に策定した「第3次経営改善5カ年計画」をもとに、計画性をもって経営改善に努めていると考える。	本県食肉流通の拠点として、県民に安全な食肉供給に努めている。取引先等のニーズを正確に把握し、取扱量を増やす必要がある。	さらに、事業活動内容や財務の状況を積極的に公開して、会社の活動をPRする必要がある。業務のチェックは機能していると考え。	7年連続で単年度収支がプラスになっていますが、さらに収益性を向上させ、累積欠損金の圧縮に努める必要がある。	職員一人あたりの管理費が高い傾向にあるので、業務の改善に努める必要がある。
総合的所見等	衛生・品質管理対策や牛肉のトレーサビリティ法の施行に伴う事務量の増加等により、コスト増が予想されるが、取り扱い頭数の確保に努め、さらに経営改善計画を着実に実行し累積欠損金の縮小を図っていると考え。			

[経営評価チームの意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
第三次経営改善5カ年計画の着実な実施を図るとともに、畜産業界の状況の変化を踏まえ、適宜見直しを行われたい。	本県の食肉流通基幹施設として安全・安心な食肉の供給に努めている。今後も、生産者や買参者のニーズの把握や品質向上に努め、集荷率の向上と畜取扱頭数の増加を図る必要がある。	7年連続で単年度収支が黒字となっており、経営状況は概ね安定してきていることから、副知事の代表兼職について、可能な限り早期に解消を図られたい。	施設の稼働率が経営に直結することから、集荷率の向上と畜取扱頭数の増加に努め、累積債務の圧縮を図る必要がある。	職員の高齢化等に伴う人件費の増大と牛肉トレーサビリティ法の施行による管理費等の増大が懸念されることから、より一層効率的な経営に努められたい。
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善が必要</div> </div> <p>利用者のニーズの把握や品質向上に努め、集荷率の向上、と畜取扱頭数の増加と経費節減等に努力し、累積債務の圧縮を図る必要がある。</p>			